



継承すべき文化財を守る

3年ぶりに市史跡・光善寺で消防訓練

◎写真あり

1月21日(土)、市は市指定史跡の光善寺(出口御坊跡)で文化財保護の消防訓練を実施する。訓練は1月26日の文化財防火デーに合わせ、枚方寝屋川消防組合・枚方市消防団と連携して3年ぶりに行う。市内には将来に継承すべき貴重な文化財が多数現存することから、それらを火災、地震その他の災害から守るために文化財保護を意識した消防訓練を行い、文化財の所有者、管理者その他の関係者に対して防火・防災体制の充実強化を呼びかけるとともに、市民等の文化財愛護に関する意識の高揚を図る。

★日時：1月21日(土) 午前10時30分～(消防訓練は30分程度)

場所：光善寺(枚方市出口2丁目8-13)

初期消火や通報訓練、放水訓練、文化財の救出訓練などを行う。また訓練終了後には、消防訓練終了後にミニ消防車の乗車体験・放水体験・防火服の着用などの催しも準備し、防火・防災意識の啓発を行う。



▲過去の訓練の様子



▲ミニ消防車

★文化財の救出訓練

今回の消防訓練では、重要物品である有形文化財の救出訓練を想定し、有形文化財に擬した代替物品を用いて実際の搬出経路の確認などを行う。

★光善寺(出口御坊跡)

光善寺がある出口の町は、文明7年(1475)本願寺第8世蓮如が建立した出口御坊を中心に発達した寺内町で、蓮如はここを拠点に摂津・河内・和泉で布教活動を行った。

伽藍配置は、『河内名所図会』に描かれているとおり、広大な寺域に本堂・山門・脇門・鐘楼・太鼓楼・書院・庭園などが配置され、江戸時代の建築構成を残し、寺内町の核として風格を今に伝える。平成22年4月1日、市史跡に指定。

★光善寺のさいかち

蓮如は出口に到り、付近の人々に説法をした。池に住む大蛇がその説法を聴き功德を得たので池を蓮如に献上し、近くのさいかちの木から昇天したと伝えられている。その後、池は埋め立てられ光善寺が建立された。さいかちはマメ科の落葉喬木で、幹周 2.2 メートル、樹高約 12 メートル、樹齢 200～250 年と推定される。昭和 50 年 3 月 31 日、大阪府天然記念物に指定。



▲市史跡 光善寺（出口御坊跡）



▲府天然記念物 光善寺のさいかち

<お問い合わせ>

観光にぎわい部文化財課 ☎ : 841-1411 FAX : 841-1278